

お知らせします

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます(敬称略)。
谷津實、菅野栄、村上喜一、半田きよ、菅野政人、菅野好光、すぎのこ母親クラブ 会長 佐々木とし子、大和ハウス工業㈱仙台支店 席執行役員・支店長 岡田恵吾、NECトーキン㈱白石事業所 代表取締役 岡部政和、(社)宮城県自動車協会 仙南地区自動車協会 会長 石川智博、平成22年度いきいき Enjoy 教室 受講生一同、協業組合 仙南環境公社 代表理事 山崎憲一、(財)宮城ヤマザワ教育振興基金 理事長 山澤進、村上文男



▲NECトーキン㈱からひこうせんに寄付されたおもちゃで遊ぶ子どもたち

敬老祝金の贈呈を見直しました

敬老祝金支給事業は、高齢者に敬老の意を表し、福祉の増進を図ることを目的に行ってきました。しかし、高齢化の進行に伴い、敬老祝金に要する経費や、介護保険・高齢者福祉事業に要する経費も増加する見込みであることから、さらなる高齢者福祉の充実を推進していくため、限られた財源の配分を見直し、敬老祝金を見直しを行いました。

これまでの敬老祝金は、77歳と88歳の方に支給してきましたが、4月から支給対象を縮小し、88歳の方に「米寿祝金」を支給することに改めました。なお、100歳の松竹梅敬老祝金は変更ありません。

●見直し後の支給内容

①米寿祝金

市内に1年以上住所を有する88歳の方に、10,000円を贈呈します(6月末までに贈呈)。

②松竹梅敬老祝金(変更なし)

市内に3年以上住所を有する満100歳を迎えた方に、30,000円から300,000円を贈呈します(満100歳を迎える誕生月に贈呈)。
※施設への入退所状況により贈呈額が異なります。

☎長寿課 ☎22-1361

～白石市国保加入者の皆さまへ～ 人間ドックの費用を助成します

健康保持増進のため、受診費用の一部助成を本年度も実施します。

●助成対象者 白石市国保の加入者で、下記のいずれかの年齢に該当し、国保税を完納している方

- ・満40歳(昭和46年4月2日～昭和47年4月1日生)
- ・満45歳(昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生)
- ・満50歳(昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生)
- ・満55歳(昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生)

●助成内容 被保険者1人につき27,800円を助成(受診時の個人負担額は10,000円)。ただし、オプション検査費用は全額個人負担。

●検査機関 公立刈田総合病院

●申請方法 保険証と印鑑を健康推進課(健康センター1階)までお持ちの上、申請してください。

●受診期間 平成23年5月～

●定員 60人(申し込み順)

●その他 年度内1回の助成。なお、人間ドックを受診した方は特定健康診査を受ける必要はありません。受診結果は本市にも提供され、特定保健指導に活用することがあります。

☎健康推進課 ☎22-1362

出産育児一時金制度が変わりました

出産育児一時金制度は、出産に要する経済的負担を軽減するため、一定の金額が支給される制度です。

平成23年4月以降、次の点が見直されました。

- ①昨年度に続き、支給額は42万円となります。ただし、在胎週数が22週に達していないなど産科医料補償制度の加算対象でない場合は、39万円となります。
- ②昨年度に続き「直接支払制度(※1)」を実施するとともに、小規模施設(※2)などでの受取代理(※3)」を制度化し、窓口での負担軽減を図ります。

※1 出産育児一時金の請求と受け取りを、加入者に代わって医療機関などが行う制度

※2 年間の分べん件数が100件以下、正常分べんの収入割合が50%以上などの診療所・助産所

※3 出産育児一時金の請求を行う際、出産する医療機関などへ直接、一時金が支給される制度

☎健康推進課 ☎22-1362

国民年金の保険料が変わりました

国民年金の保険料が、本年4月分から月額15,020円になりました。

■学生納付特例制度を受付中です

学生納付特例は、在学期間中、毎年申請が必要です。継続申請用の封書が届いた方は、同封のはがきに必要事項を記入の上、ポストに投函してください。

新たに申請する方や平成22年度に申請して継続申請用の封書が届かない方は、①学生証または在学証明書、②年金手帳、③印鑑をお持ちの上、市民課で手続きしてください。
※被災による減免は、14ページをご覧ください。

☎大河原年金事務所 ☎0224-51-3113
市民課 ☎22-1312

平成23年度から「みやぎっこ子育て家庭応援事業」がリニューアル!



宮城県と県内市町村では、4月から「みやぎっこ子育て家庭応援事業」の名称を「みやぎっこ応援カード事業」と改め実施しています。

●事業の概要 子育て家庭(中学生までのお子さまや妊娠中の方がいる家庭)が協賛店において買い物などをした際に、「みやぎっこ応援カード」を提示することで、協賛店が設定するサービス(割引、景品プレゼント、ミルク用のお湯の提供など)を受けることができます。

●事業実施期間

平成23年4月～平成27年3月

●新カード配布方法

就園・就学中のお子さまがいる家庭には、各保育園・幼稚園・小中学校を通して、また、在宅のお子さまがいる家庭には郵送で3月に配布しています(妊娠中の方には母子健康手帳交付時に配布します)。

対象家庭でカードが届いていない場合は、子ども家庭課までお問い合わせください。なお、原則として対象家庭に1枚の配布となります。

●協賛店舗 協賛店は、店頭に張ってあるステッカーが目印です。ホームページでも紹介しています。

・パソコン用 <http://sukumiya.jp>

・携帯電話用 <http://sukumiya.jp/m/>

☎子ども家庭課 ☎22-1363

市営白石駅前駐車場をご利用ください

通勤や通学時の駐車場をお探しの方は、市営の白石駅前駐車場をぜひご利用ください。一時利用もできます(30分以内は無料)。

●利用料(月額) 4,500円

☎都市整備課 ☎22-1325

白石市誕生祝い金の贈呈を見直しました

白石市集中改革プラン(改訂版)に基づき、事業の見直しを行い、4月1日から次の通り贈呈金額・内容を見直しました。

●贈呈金額

・第1子・第2子:10,000円

・第3子以降:20,000円

●贈呈内容 協同組合白石ゴールデンシール会商品券を贈呈します。

※協同組合白石ゴールデンシール会からも、誕生祝い金の1割相当分の商品券を合わせて贈呈され、地域全体で誕生を祝福します。

☎子ども家庭課 ☎22-1363

公共下水道への接続が新たに可能となりました

3月31日から、大平森合字森合沖の一部の区域で公共下水道への接続ができるようになりました。該当する区域の皆さまには、受益者負担金や排水設備工事などについて個別にお知らせします。

下水道の処理区域になった日から3年以内に接続される方は、資金の一部を無利子で借り入れられる制度があります。また、工事は市公認の業者に直接ご依頼ください。

※既に公共下水道・農業集落排水を使用できる区域にお住まいの方で、まだ接続されていない方は、早期の接続をお願いします。

☎上下水道事業所 ☎25-5522

農用地利用集積奨励事業を終了します

農用地の流動化や面的集積を促進するため、借り手農業者や貸し手農業者に奨励金を交付する事業を平成18年度より実施してきましたが、本年5月31日をもって終了することとなりました。事業終了により、平成23年度の交付対象は1月～5月開催の農業委員会で承認され、始期が平成23年5月31日までのものに限ります。なお、今後も契約期間満了前の解約は補助金返還の対象となりますので、ご注意ください。

☎農林課 ☎22-1253

まちの話題

～あの日、あの時～

Diary

楽しみながら交流を深める! 第20回白石市スポーツ少年団交流大会

2月21日、「第20回白石市スポーツ少年団交流大会」をホワイトキューブで開催しました。今年の大会には、柔道やバレーボール、野球、空手道の12団体に所属する幼稚園児から中学生まで約210人が参加しました。

大会前半は、所属する少年団の枠組みを超えて混成チームを編成。円盤道具でドッチボールをするドッジビーと玉入れでは、ほかの少年団の選手と作戦を練りながらゲームに臨み、どの選手も楽しみながら交流を深めていました。

後半の大縄跳びとぞうきん掛けリレーは、各少年団対抗で熱戦を展開。熱戦に次ぐ熱戦の末、優勝は「青麻少年野球クラブ」。準優勝は「白石空手道」。第3位は「福岡少年野球クラブ」という結果になりました。



▲楽しみながら交流を深める選手たち